

令和6年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

高齢者の移動手段の確保

事業名

高齢者移動サービス

地域の課題（背景）

- ・当地域は高齢化が進んでおり、今後ますます重要になる事業であり、高齢者の生活基盤となる買い物や通院等について、移動の手段に困っている。
- ・デマンドバス、巡回バスがあるが、利用するには、不便を感じる面が多い。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ・ボランティアの高齢化が進んでいるので、世代交代を進める。
- ・関係団体との連携及び個別折衝などでボランティアの発掘を行う。
- ・サービス利用者受入れ時のルールの整備を図る。

自助(自分でできること)

- ・昼間独居者については、家族間の関係の希薄化が生じないように、連携を目指す。
- ・区長、自治会長、民生委員児童委員と連携し、利用者の状況を注視する。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・参考となる情報の提供。
- ・活動に関するPR。
- ・必要経費に対する助成。

令和6年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

高齢者の憩いの場の提供

事業名

石津地区サロン運営事業

地域の課題（背景）

- ・高齢化、独居、核家族化が進む地域であることを改めて認識する。
- ・新型コロナウイルス感染症の収束後の外出控えが進み、地域の交流の場が減少した。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ・令和5年6月から毎月1回（第4金曜日）定期的に行うようになったが、新型コロナウイルス感染症拡大前の来場者数に達していない。そのため、以下の対策を計画する。
 - ①併設する「朝市」の出品内容を充実する。
 - ②他地域（市内・市外問わず）のサロン運営を視察するなど、運営の改善を図る。

自助(自分でできること)

- ・「地区社協だより」の掲載による広報と口コミにより参加者を集める。
- ・「朝市」に協力してもらう農家との連携を更に図り、出品物の内容の向を図る。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・市内、市外のサロン運営等の情報提供をお願いしたい。

令和6年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

地域コミュニティの核である小学校との連携

事業名

世代間交流推進事業

地域の課題（背景）

- ・家族、地域でのコミュニケーションを図る機会が減少している。
- ・三世代交流となる活動や行事を実施しづらい社会状況にある。
- ・小学校と地域の連携による「コミュニティースクール」活動に協力を求められている。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ①米づくり体験活動（石津小学校の行事に協力）
 - ・境自治会、農業ボランティアと協力し、地区社協の有志も活動に参加する。
- ②さつま芋作り体験活動
 - ・田鶴地区の農業ボランティアの指導で、地区内の認定こども園（2園）の年長組園児と石津小学校1年生児童がさつま芋作り体験活動（苗植え、芋掘り、焼き芋パーティー）を行うのに、地区社協の有志も参加する。
- ③福祉標語の募集
 - ・石津小学校の6年生を対象に、福祉に関する標語を募集する。
 - ・優秀作品（12点）を表彰し、石津地区社協だよりに掲載する。
- ④「コミュニティースクール」に参加し、地域の活動として取り組む。

自助(自分でできること)

- ・農業ボランティアなど、活動に協力してくれる仲間を募る。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・特に新規事業である「コミュニティースクール」についての情報を繋いでほしい。

令和6年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる地域づくり

事業名

スクールボランティア

地域の課題（背景）

- ・車社会となり、児童の登下校時の安全や、近年では変質者も各地で報告されている。また、ボランティアも高齢化し、活動の低下が懸念される。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- ・自治会や関係機関と連携を図り、人材確保を図る。
- ・学校と協力し、児童の交通事故防止や地域の安全対策への意識の向上を図る。

自助(自分でできること)

- ・児童の登下校時の見守り活動。
- ・メンバーでの情報共有や新しい人材の確保を図る。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・地域の運転手への安全運転の啓発。
- ・地域の方への活動への理解を深めるための周知や他地区での活動団体との情報交換会などを行ってほしい。

令和6年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる地域づくり

事業名

地域安全（青色安全パトロールの実施）

地域の課題（背景）

空き家などへの「忍び込む」や空き巣などの犯罪の増加や小学校児童の下校時の安全確保への対策が必要な状況。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

青色防犯パトロールの実施で、安全対策に気を配っている地域であるとアピールすること。さらに高齢者の徘徊などが散見されるので、必要に応じた行方不明者の搜索への参加やゴミの不法投棄の発見で、行政等との協力関係の構築を行う。また、区・自治会との連携でボランティアの若返りと人数の増加が必要。

自助(自分でできること)

- ・児童の下校時を中心とした見守り活動とその活動中のゴミ不法投棄場所の発見など。

公助（行政や社協に依頼すること）

警察情報の提供。

令和6年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

子どもからお年寄りまで安心・安全に暮らせる地域づくり

事業名

災害対策

地域の課題（背景）

災害はいつ発生するか分からないが、そのうちいつか必ず発生することを前提に、区・自治会は災害発生時は地区内の住民の安全確保が第一義となることから、地域（小学校区）を俯瞰する災害対策が必要となる。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

防災士の資格を持つ方が増えている。防災士と連携をし、必要と思われる啓発活動を計画し、区・自治会に呼び掛け、具体的な活動につなげる。

自助(自分でできること)

- ・防災士との日常的なつながりの確保。
- ・地区社協運営委員会での情報共有。

公助（行政や社協に依頼すること）

- ・市役所担当部署からの情報や物品の提供。

令和6年度 石津地区福祉活動計画

重 点 課 題

地区社協の活動を広く周知する

事業名

「地区社協だより」の発行

地域の課題（背景）

- 令和5年度までは、総務部会の広報活動として「石津地区社協だより」を発行。令和6年度からは、一つの事業として計画を策定する。
- 地区社協には様々な活動を通じて地域の福祉課題の解決の一助を担っているが、地区社協の活動状況を地域の方に知ってもらい、活動に参加してもらうことが必要。

推進方法（地域でできることをより具体的に記入）

- 2か月に1回、「石津地区社協だより」を発行する。
- そのために編集体制を確立し、読みやすく親しみやすい紙面づくりに貢献する。

自助(自分でできること)

- 編集方針の確立と編集委員会の編成で紙面の充実を図る。
- 協賛企業を募り、自主財源を確保。

公助（行政や社協に依頼すること）

- 情報の提供など、紙面づくりへの協力。